京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一同金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

甘茶澁茶

▲はた及ばず

醒めぬ、覺めぬ、
あゝれうましの身なりけり。
うま酒に傾國の美に醉ひ、
うま夢に邯鄲の安きに睡り、
てゝちよき間に、
いつしかに、日は逝ちぬ。
醒めて、覺めて、
太陽は落ちて、途は遐くて。
貽されし身、昨は非に、
傷つきし心、今は是に。
醒めぬ、覺めぬ。
あゝされど、されど、
はた詮なし、はた及ばず。
あゝたぞましの身なりけり。
霜隕ちて、菫子香なし。

▲神の福ビリケン

米國全土に大信仰を有する福德圓滿富貴自在の福の神ビリケン、此のたび我國に渡來し、盛に滑稽の笑を信者の前に致すと聞く。グーテン、タッハ、ゴーテ、ヘライン、善い哉、ビリケン、冀くは我國に富福を垂れよ、不景氣は現下我國の有ゆる事業と有ゆる階級とを荒び。人氣銷沈して民に活氣なし。一笑先づ貧乏神を拂ひ、二笑以て民の愁眉を舒べ、三笑以て民の心を暢ばし、四笑以て事業の勃興を手傳ひ、五笑以て景氣に興を添へ、六笑以て富を懐に捩ぢ込み、七笑以て福を双肩に載せよ。八笑九笑福隨て生じ、九福十福民隨て富まば、三拜九拜國寶と崇めん也。然れども余輩は併私かに擱る女の渡來は我國民の迷夢の未だ醒めやらず、女の國民の着々指を東洋に染むるにボンヤリたるを笑はんとする爲ならざるかを

▲嗚呼悲慘噫無情

過日福岡縣大野浦炭坑瓦斯爆發して死者二百餘を出せり。天下の慘事たり。終日終夜、金の梯子の地獄の底に、其黑々に働きて、なりわひをする、既に慣れ。此の悶ひべき不幸の生命を禦ふ何たる悲慘ぞ。剰や一時に罹災二百に餘るに於てをや。同情禁じ難し。事天聽に達し、使を遣はして慰撫せられ、賜はるに不少の金幣を以てせらる。聖德無邊、邊疆の此の窮民にまで及ぶ、聞くもの誰か感泣せざらんや。而して幾多の韓地の新紙の殆ど記事の此の一大慘事に及ぶなきは何ぞや。吁常には人道を說き、人權を說き、生物虐待を說くものゝ、此の一大事變に風馬耳たるが如きは、矛盾も亦た甚だしく余輩其の意を知らず。所謂對岸視するもの實に事の對岸なりしが故か、悲痛慘憺遂に筆にするに忍びざりしと言はゞ、余輩又た何をか言はん。

寄書

愚なる賣藥許可方針
（當局者の辨明を期待す）

旭川

何んに感じてか内部衛生當局者は頃日曜露せる愚言として、フフン馬鹿なとセセラ笑ふの價値又充分に之有り。日本にありても賣藥の醫藥に比して其の極量を局減せらるゝは事實なり、此所にも云へるが如く劇毒藥を配するものに特に然り、而して何んが爲めに然るかを云へば、即ち醫師保護法也、否らざるも少くも其臭味を帶びて然るは三十八年中東京藥種商組合及賣藥商組合が組合員津村重舍や山崎嘉太郎等をして時の衛生試驗所長（名を逸す）に對して劇毒藥の配劑の自由を求めたる時に露れたる喜劇に依りて一般に推斷せられたる事實なり、韓内部當局者が今日の如く之れを聲明したるも又此の趣旨に出でたるものか。

然れどもそは彼れの勝手也、然り彼れの勝手也、升は彼れの勝手なれども事實賣藥として發售を許さるゝものが出劇藥中最も効力なき毒にも藥にもならざるものなりとせば不埒至極と云はざる可らず、効能ある藥の發售をさへ許可せざる權能を有する當局は、何んの必要あつてか毒にも藥にもならざるものを藥として發售せしむるか、苞苴の多寡に依つてか、請託の有無に因りてか、奈何。

韓國の如き醫師の分布少なき地に居住せる吾人は之れに關する當局の言明を期待せざるを得す。（一日稿）

和歌募集
勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

通信社員に賣藥認可の方針に就て左の如く語れりと新聞紙は傳へり、京城は素より各地方より警視廳若くは理事廳に向つて認可を願ひ出づるもの頻々たる中に梅毒丸若くは驅黴丸等の名にて花柳病の賣藥尤も多し元來賣藥は毒にも藥にもならぬものを認可する方針にて花柳病藥は全般に劇藥を混せされば奏功なきものなるを以て賣藥としては許可する能はずされば假令其筋にて發賣を許す事となるも何等の効力なきものに對してのみ之を行ふ事なれば花柳病患者は新聞紙等の誇大なる廣告に惑されて折角根治すべきものを賣藥にて始息療法をなし二期三期の重患に陷らざる樣注意肝要也と、其の誇大なる廣告及効能書等に惑はされ醫藥を排して重患に陷る勿れとの注意は何時の際に於ても最も必要なる警告として服膺するの價値あり。然れども賣藥として發賣を許すものは何等の効力なきもののみと發言せるは無責任にして不信切なる當局者の失態を

雜報

●職員須知要綱配布

學部當局者は今回各道より歸來したる學事視察員の報告を綜合し各地學校職員に對し一大發奮能く其職を盡さしめん事を期し次官より各道書記官の手を經て普通學校職員須知要綱なる印刷物を配布すべく目下草案中なりと云ふ



第四十五席

伯山改　神田松鯉口演

爲朝聽いてカラ〳〵と打笑はれ「人は萬物の靈とまで言はれて居るに、左樣な怪物の爲めに誑かさるゝなどゝは何たる意氣地のない事だ、明日とも言はず今直ぐに是れから往つて退治て遣はさう」と、彼の三吉を案內者として弓矢を携へ、林を通つて海濱の穴へとやつて參つた、折から日は暮れて月は中天に冴え返り、波の音さへ物凄く、なれども爲朝は少しも驚き給はず、石に腰打掛けて高らかに話などされて居る、其內に穴の中より風起るよと見る間に例の眞白なる小牛の如き怪物、ドッと許りに飛出し、見る〳〵うちに二三丈の大入道となつて大口開いて爲朝を一呑にせんと飛掛るを、物々しや、怪物、御參なれと、弓に矢番へ大入道を望んで放つと見せ掛け、突如、クルリと向直つて後の方へ向ひ五六間先の異黑の物をばヒユーと許りに射まするど「キャッ」と叫んで彼の異黑の物二三度クル〳〵〳〵〳〵と廻つて悶絶へた、爲朝立寄つて見給へば、頭より尾に至るまで六七尺もあらんと覺ゆる山猫でありました、矢は其猫の咽喉を貫いて生ぬて居て、全身に銀の如き毛が後の松の大木へ半以上射込んである、猫は爲朝の弓勢に見事急所を貫かれ一言も叫ぶ間なく息絶れた、三吉始め爲朝の弓勢の強いのに、今更ながら驚きました、時に三吉爲朝に向ひ三「エ、恐れながら伺ひたいことがございます」爲「何だ」三「外でもございませんが、怪物が前に居りまするのに後を覘つて御射りになりましたのは何う云ふわけでございませうか」爲「ウム、其疑ひは尤である、汝等は武藝の道を心得ぬからであらうが、すべて妖怪變化など云ふものは狐狸の類の所業である、所が狐狸が人を誑らかすには、正体は後にあつて前へ幻影を現はすのだ、夫故前の幻影を打たうが斬らうが少しも手應がない、却つて後の正体の爲めに自由自在に翻弄されるのだ、依つて武藝の法に於て虛を以て實を打つと云ふのだ」と說かれましたので、島人等成程と許りに感じまして是れより益々爲朝を神の如くに恐ひまする、爲朝大島に來りしより既に十年となりました、近頃は又八丈島を征伐して之れを領有され、伊豆七島の主となつて威勢を振はれました、然るに所或日爲朝島人に命じて網など引かせて終日遊び暮らされ、やがて館へ歸られますれば、鬼夜叉と云へる郎黨出で迎へて「今日拙者磯廻りして怪しき者捕へ申し候、釣船に乘りて簑笠を身に纏ひ、必定茂光が間者ならんと矢庭に捕縛して立歸りましたるに彼何事も言はず、唯御曹司に見ゑ奉らば事明白なりと申し居りまする」爲「ウム、左樣か、然らば予が自身に逢ふて見るであらう」と、衣服を改ためて緣端へ出でられますれば、鬼夜叉は自ら繩を取つて彼の縛者を縁の傍へと引据ゑた、爲朝は燭火を點さして彼の者を見給ふに、身の丈六尺に近く双の眼は鈴を懸けたる如く、口髯青み、腰には錠を付け、實に凡人とも見ゑません、爲朝は暫し睨んで在はせしが爲「コレ、汝は茂光の間者であらう、何故斯樣に阿容々々と生捕られたるぞ」ときめ付けば、彼男は恐るゝ氣色もなく「某は少々御曹司に要用ありて波風を凌ぎて參り候ものにて、願くは傍なる人を退け給へ」と申しまする故「オ、左樣であるか、然らば汝等は彼方へ遠慮致せ」と申されまするので、鬼夜叉以下の部黨は彼方へと去りまする此時彼男は聲を低くうし頭を垂れて「某は下野なる足利義康の郎黨にて梁田二郎時員と申す者にて候、主君義康の命を受け、一大事を告申さん爲めに來り候者にて、願くは此書簡を御覽下されませ」と、襟の糸をばバリ〳〵と裂き縫込みありし書面を取出して爲朝へ渡しました



論說

經濟擴張の大勢

ユーケー生

經濟に國境なしとは經濟學の舊派が主張して道破したる所なり、惜い哉彼等は局部の現象より推斷を放ち、之を現當一般の法則と爲したるが故に謬所臆斷の空論なりと評せらる、若し之を各國經濟の大勢に關する永遠の理想なりと爲さば、何人か能く之に抗せんや、

近世獨逸に興りたる歷史派の國民經濟主義が舊學派に反對し個人本位を排して國民本位に依り、各國各時の國勢に適當する法則を以て自產自給の獨立經濟を營爲すべしと主張せるは人の能く知る所なり、此主義は一面に於て經濟の法則を國籍に從はしめ、經濟の範圍を國境に限らんとするものに相違なしと雖も又た他面より之を見れば小なる個人經濟、部落經濟及地方經濟の狹隘爲す有るに適せざるを悟り、其の經濟範圍を一國、一國民の範圍にまで擴張せんとしたるものと云ふを得べし、更らに進化の將來を卜すれば國民經濟主義は他日無限に範圍を擴張して世界經濟に到達すべき歷史上の一階梯たるなきを知らんや、

合同と獨立とは相反對する勢力の如くにして、亦た互に相缺くべからざる勢力なり、大なる國民經濟の下に於て各個人經濟の獨立が必要有利なる如く、此の國民經濟の獨立は大なる國際經濟の間に於て、亦均しく必要有利ならずんばあらず、是れ現時の各國民が相競ふて獨立自强の政策に汲々として倦まざる所以ならん、然れども經濟擴張の大勢は國民經濟の獨立を以て終焉するものにあらず、小なる經濟よりも大なる經濟の多々有利なるべきは常に眞理なり、個人經濟よりも地方經濟、地方經濟よりも國民經濟の有利なるが如く又た此國民經濟よりも更らに大なる經濟を組成するの外交、軍備、貿易、企業及資本の關係等に於て一層有利强盛なるべきは疑ふべからず、是れ最近歐米先進國が相爭ふて併合又は同盟に依り經濟の範圍を擴張して、大經濟を組成せんと力むる所以ならんか、

今や歷史派の國民經濟主義は既に其の狹隘なるを感ぜられ、英米の識者は盛に帝國主義を謳歌しつゝあり、帝國主義は英米の如き富强國が舊來の國境及國籍を踰越して其の經濟範圍を非文明の殖民地、保護國又は謂ゆる勢力範圍地に擴張し、關稅を特惠し資本を共通し、以て自產自給の大經濟を構造せんとするものなり、此主義の中心は尙ほ國境、國籍を全く離脫するに至らずと雖も、之に相繼ぎて對等國間の國際的經濟同盟なるもの必ず併發すべきなり、吾人之を新國際經濟主義と稱せんとす、此の主義に於ける經濟は明かに國境を離脫し、世界經濟の理想に向つて一步の光明を點ずるものなり、英國に於ては統一黨のチヤンバーレン氏あり、熱心に帝國主義を主張し殖民地首相會議之に和したるの結果、加奈多の特惠關稅は主義として既に成立し濠洲及ニユージーランド並に南阿殖民地は既に大關稅同盟を組織して英本國の經濟に統合せんとするの氣勢を示せるは、吾人の喋々を要せざる所ならん　未完

東京電報

▲海軍長官の親補式

本日午前十時宮中に於て海軍々令部長並に各艦隊司令長官其他各將官の親補式擧行されたり（一日夜着）

▲各長官の大更迭

本日左の通り海軍各長官交迭發表されたり

海軍々令部長　海軍大將　東郷平八郎
補軍事參議官
第一艦隊司令長官　海軍中將　伊集院五郎
補海軍々令部長
横須賀鎭守府司令長官　海軍中將　上村彥之丞
補第一艦隊司令長官
海軍大學校長　海軍中將　島村速雄
補第二艦隊司令長官
佐世保鎭守府司令長官　海軍中將　瓜生外吉
補横須賀鎭守府司令長官
海軍次官　海軍中將　加藤友三郎
補吳鎭守府司令長官
第一艦隊司令長官　海軍中將　出羽重遠
補佐世保鎭守府司令長官
第一艦隊司令長官　海軍中將　山田彥八
補竹敷要港部司令長官

▲海軍次官の任命

海軍大佐財部彪氏は少將に昇任し海軍次官に任命されたり（同上）

▲高度相の大阪行

韓國度支部大臣高永喜氏は今朝新橋發大阪に向へり（同上）

▲下旬の貿易好況

十一月下旬の外國貿易は輸出超過四百卅一萬四千圓の好況を示せり（同上）

桑港電報

▲英政界と經濟界

英國政界の小康は外國金融市場に迄影響を及ぼさんとする模樣あり現に伯林取引市場に於ける主立つたる株式は悲況に沈みつゝあり（一日着）

▲渡米團体の出發

渡米實業團は三十日桑港出發東洋汽船會社の地洋丸にて歸國の途に就く見送盛にして又朝鮮告別の宴は非常の盛會なりき（二日着）

▲暗殺連累の嫌疑

當地上陸の韓國政客四名は支那人なりと僞はれるも伊藤公暗殺連累の嫌疑を以て警察は右取調の命令を受けしを彼等は之を覺り何れへか遁走せり

歐州電報

▲豫算案の上院否決

英國上院に於ける豫算案は終に否決せられたる爲め憲法上一大疑義を生ずべし（二日着）

雜報

豫算制度の紊亂

韓國政府が屢々官報を以て公布する豫備金及國庫剩餘金支出なるものを見るに洵に不思議の事多く一例を擧ぐれば過日支出の裁可を公布せる韓皇地方行幸費十六万五千圓の如き其他何調査何餘緒と稱し支出せし諸件の如き其事實を穿鑿すれば孰れも施行後數箇月以上を經過し其間に於ける現金支出の徑路頗る怪しむ可きものあり現に韓皇の地方行幸は本春二月の事にして當時其豫算を有せざる事明かなる以上は直ちに其手續を踏む可きに斯く遲滯せるは則ち他の資金を流用して其用を辨じたるものに非ざる乎若し然りとすれば韓政府は豫算なきに事業を施行せるものにして豫算制度紊亂の端を啓くものなり

韓國現在の國債

韓國に於ける一般の財政は頗る窮乏を告げしと雖も政府は從來國債を募集したることなく既往債務は國庫取引銀行よりの借入金其他少額の義務を有するに過ぎざりしを以て幸に財政整理上有望なりしが光武九年以來一般政務の改善に伴ひ資金を要すること多く漸次國債の募集及借入金を爲せり而して隆熙三年五月末に於ける現在額は三千八百八十七萬九百七十三圓なりといふ

●暴徒と道路の開鑿

全羅南道海南を起點として河東迄の沿岸線新道路北の延長約三十六里を今後一箇年内に開鑿せんと計畫を立てこれが工費二十一萬圓を計上されたるが該工區は一區を九里宛として四區に分ち海南に事務所を設置し元鎭南浦に在りたる小野技師之が監督主任となりて全工事の監督に任ずる筈なるが工事に要する使役韓人夫は過般我駐箚軍に於て同地方の一大掃蕩を決行したる際に發たる暴徒及び暴徒嫌疑者二千餘名ありて彼等は皆其業を失ふて口を糊するの道なきより斯かる黨類に與したる者尠からざるを以て軍司令部にては此際何等かの職業を渠等に與へて正業に就かしめ自活の途を開かしめ遣らむものと思惠的講究を重ねたる結果遂に該工事に使役するに至りたるものらしく土木局よりは羽田野技手は日韓工夫六名を引率して去月二十四日の隅田川丸にて木浦に上陸し海南の事務所へ赴き其他安州よりは羽川技手群山よりは石塚技手大邱よりは玉木技手及び其他の工事從事員として日韓雇員十二三名同工夫三十名は該工區へ夫々派遣せられ去月三十日より大擧して其工事に着手したる筈なり而して海南は例の珍島の對岸にして木浦港より約七里河東は鎭海灣を去る約七八里の地點なりと

●農事の改良と器具

韓國の産米は土砂混入し精米費を高め延いて米價を低下せしめ農事經濟上其影響夥しきを以て當局者は夙とに之が改良の必要を認め各種器具を配付し其使用法を奬勵しつゝありと今其配付を揭ぐれば左の如し

	稻扱器	製繩器	製莚器
京畿	一一〇	三	四五
忠北	三〇	一	一八
忠南	二〇	一	一三
全北	二五〇	四	一六〇
全南	二二〇	三	一三七
慶北	九二	一	四六
慶南	八〇	一	四七
黃海	五〇	一	一八
平南	五三	三	二八
平北	四〇	一	二二
江原	三	…	三
咸南	三	…	三
咸北	一八	…	三
計	九四九	一九	五四三

●來年度の通信機關

來年度に於ける通信機關の狀況を聞くに通信管理局に於ては出來得る丈け擴張の方針なるも來る會議に於て豫算決定するに至らざれば其の確實たる方針を定むる能はざるも其の大體としては既報警備電話の架設と相待ち國有線と警備電話の聯絡を保ち得る丈けの郵便局所を增設する計畫なりと而して近々通信管理局に於ては大々的缺員淘汰を斷行すべしとのことなるが這は何等かの間違ひなるべく人文の發達に伴れて通信機關の擴張こそ要すれ人員の減少は之れが機關を縮少するものなれば斯の如きは萬々之れ無かるべしと云ふ

●統監官邸の晩餐會

曾禰統監は一昨一日午後六時より市原韓銀總裁、日下一銀取締役、水越三韓銀理事、竹山一銀京城支店長、杉田、河野兩一銀行員を主賓として統監邸に晩餐會を開きしが荒井度支部次官、鈴木司稅局長、藤原銀行課長、河内山監督課長、不波、野坂兩事務官、倉富長官、宇佐川男、石井武官、榊原憲兵隊長、統監府よりは石塚長官、國分、佐竹、小松、兒玉氏等も參列主客乾杯を交換し午後十時散會したり

●密漁船取締と清國

清國は韓海出沒の同國密漁船に對し吾が取締を嚴にする爲め多數の密漁者は爲めに非常の打擊を蒙りたるより關東洲漁業問題と交換的に協定せんことを申込みたる由なるが韓海密漁船に對しては嚴に吾政府より好意的交渉を試みたるに清國は頑として是に應ぜざる爲め遂に任意の取締を實行したるものなれば今更斯かる交渉を受くるも斷然拒絕するのみなりと某當局者は語れり

韓銀の營業方針

韓國銀行營業方針に就きては第一銀行引繼以來當局及銀行重役間に於て連日に渉り研究凝議の由なるが何分財界に對して重大なる問題なれば愼重にも愼重を累ね些末の誤過なきを期し爲に意外の日時を要したるが昨今既に大部分纏了を見るに至り就ては遲くも明土曜日迄には全部決定發表の運に到る可しと

●韓國銀行の披露宴

韓國銀行は第一銀行よりの事務引繼も無事終了したるを以て市原總裁は既報の如く明四日午後一時より京仁龍の文武官民千余名を目下南大門通りに新築中の行舍に招待し盛大なる開業披露の宴を催す事に決定し昨日案内狀を發せり當日は地下室に模擬店をしつらへ樓上に食卓を設け尙暖爐の設備を爲す由

●助役の進退は如何

民長決定と同時に起る可きは助役の進退問題なるが民團法施行規則第八條によれば助役及會計役の任期は三箇年にして現任林田助役は昨年十一月の撰任なれば尙ほ二年の任期を有すれば發書の主旨に基き吏員の大淘汰を實行するも役助の進退に關しては同一視し難く多少の面倒あるべしと云ふ

●兩派の宣言書修正

大韓協會、一進會兩派にては可成聯合を繼續せんことを期し其れに就ては曩きに協定したる宣言書に多少修正を要する點ありて西北學會にては副會長吳世昌、金相範の二名を一進會は副會長洪肯燮、崔永年の二名を文字修正委員に撰定し三日午後一時より韓人商業會議所に會合して諸般の打合せをなす筈

●屠獸施行細則草案

屠獸法は既に本年八月より施行の筈なるも從前の庖肆規則にて一箇年間の庖肆稅を徵收しあるにより事實上本年中は屠獸法の實施を見る能はざるが目下衞生局にては各道の屠獸數を精査し既に各道に頒布すべき施行細則の草案中

●地方行政刷新要義

地方行政刷新の要義は日本人官吏の普及其人撰統一的施政等にして今日本人官吏を韓國全道に配置するとするも僅かに年額四十万圓を要するに過ぎざれば來年度に於て地方行政刷新の第一要義として日人郡主事を增員すべきなり

●内部と道政の精査

内部にては從來各道諸官衙道政の狀況を精査し其方法の機宜に適したるものは之を奬勵し處置を誤れるものは直ちに匡正し來れるが交通機關の設備未だ完全に至らざるを以て今迄に多大の時日を要し難澁を來すこと尠からずと

●客月の商品陳列館

客月中に於ける商品陳列館の入場人員は七千七百二十八人にして之を前年同月の一千万三百三十八人に比して約半減せり而して入場者は多く韓人にして外國人は殆んど稀なりと尙は每月入場者は次第に減數の傾向あるの由なりと云

●練習艦隊と歡迎宴

練習艦隊阿蘇、宗谷の二艦は明四日仁川に入港するを以て信夫仁川理事官は司令官以下乘組將校一同を招待して盛大なる晩餐會を開催する由なりと

●日人郡主事好成績

日人郡主事配置後の成績頗る良好にして最初之を忌避して擇ばざりし韓人郡守も今は進んで日人主事の聽用を内部に向つて懇請し來る者多しと云ふ

●國民追悼會の消息

伊公國民追悼會擧行に就き當初の日時變更の爲め一時頓挫を來せしが其後の準備も既に其緒に就きたるを以て遲くも今後三十日以内に擧行の筈なりと

●築港期成會委員會

仁川築港期成會は昨二日午后六時より仁川ホテルに上京委員會を開き桑野氏より緊要なる上京報告あり總て右に關し重要問題に就き審議する處ありたり

●本年の年末賞與率

韓國政府が給與する年末賞與の率は昨年の參與官會議に於て決定し其平均俸給一ヶ月二三步の割合なりしが本年はこれより多少の減率あるべしと云ふ

●松井警務局長招宴

統監府間島派出所引揚げにつき内部より出張中なりし警視警部主事十數名此程歸京したるに付警務局長は慰勞の爲め來週月曜日京城ホテルへ招宴の筈

●一銀重役連の歸朝

第一銀行取締役日下義雄同副支配人松田富の兩氏は韓銀との引繼用務を帶び豫て來京中の處昨二日午前九時南大門驛發列車にて歸朝の途に就きたりと

●監督局長の交迭說

來年度に於て全南光州に財務監督局新設する由は既報せしが同局長の任命と同時に全國監督局長に大交迭あるべし

●地方行政狀態調査

内部は各觀察道に命じ所管官衙の行政狀態を調査せしめつゝあるが其成績の如何に依り嚴重なる監督を爲す可しと

●各部豫算の決定期

來年度の各部豫算は目下度支部司稅局に於て審定中なるが既に大体の方針は定りたれば來る二十日頃迄に決定の筈

●度支部課長の更任

度支部理財局國庫課長河内山樂三氏は監督課長に任じ國庫課勤務を命ぜられ書記官安國善氏は國庫課長に任命さる

●石塚參與官の快癒

微恙の爲め豫て引籠中の石塚長官事務取扱は快癒し昨二日より登廳執務せり

●農商工部に米寄贈

開城富田儀作氏より農商工部に白米七叺を寄贈すべく統監府に托送し來れり

●慶北來年度の豫算

慶尙北道竹內書記官は來年度地方費豫算（九萬圓）提出の爲め昨二日入京せり

●興業會社支店閉鎖

韓國興業會社仁川支店は本月限り閉鎖し來月上旬を以て仁川を引揚ぐる筈也

●紀念品の御下賜

曩きに梨本宮殿下の歐洲より御歸朝の途次韓國を御通過の節警備の任に當りたる山形憲兵中佐、荒木同大尉、村田同中尉、江木同中尉の四將校へ今回宮殿下より銀製筵賞入一個宛御下賜相なりたりと云ふ

●谷川警部の歸任

故伊藤公狙擊犯人審問に付特に警視廳より派遣したる谷川警部は愈一昨一日旅順を出發したる旨其筋へ電報ありたる由なれば昨二日歸任の筈なるも風波の都合に依りては三日になるやも計られざるべしと

●排日新聞の押收

在布哇韓人の發行に係る新韓國報三十六號は治安妨害の廉に依りて昨二日押收せられたりと

●内田良平氏來る

一進會顧問内田良平氏は一日夜突如入京したるが氏が來京は時節柄最も注目に値すべしと

●今村警視の歸朝

群山警察署新築落成式に臨場せし今村警視は二日歸任

●吉村五郎氏退城

入京中なりし法學士の氏は一日鎭南浦へ向つて出發す

●赤松時圀氏退京

湖南農工銀行忠州出張所支配人の氏は一昨日鳥致院へ

●北浦重之氏出發

東亞煙草專賣局技師の氏は一日釜山へ向つて出發せり

龍山通信（一日 支局報）

▲滿韓運帶の荷客　十一月中に於ける滿韓運帶旅客及び手小荷物數量左の如し

滿鐵線發旅客　八六　手小荷物　一二
滿鐵發同上　二四　同　上　一

▲前月中鐵道收入　鐵道廳の十一月中運輸收入概算額總計は三十四萬四千二百八十八圓十六錢なるが之れを前年同月の收入三十五萬二千十二圓三十九錢に比すれば一万三千九百二十四圓即ち三分九厘弱の減收となる原因は昨年中は駐韓軍隊交代の大輸送あるに反し本年は米穀すら內地の相場下落の爲め例年に比し出荷甚だ少かりし爲めなり然れども十一月中旬以降は內地の相場稍持直したる爲め多量の輸出米あり僅かに四分以內の減收に止まれるは寧ろ豫期以上の好成績を收め得たるなりと

▲龍山不景氣一面　十八銀行龍山出張所の營業狀態に就き同所主任阪敬明氏は語りて曰く當地の商賈は殆んど其全部が小資商人なるを以て悉く貸出しを拒絕し居れり若し少しにても手加減を加ふる抔の事を爲さんか却て商賈を苦しむるの結果を來さんを虞るゝが爲めなり因て當所にては專ら預金を取扱ふのみ然れども例外無きにあらず即ち從來取引を爲せる人にして資金の用途を明かにし且つ回收の見込確實なる場合は當出張所の證明に依り京城支店に於て貸出しを爲し居れり目下の貸出額は二三萬圓ならんか預金は前月來現在高約十二萬圓あり而して官吏の預金は皆無なりと云々と依て惟ふに龍山は變な所なり如何となれば龍山は人口七千餘此の內鐵道廳其他の官署に屬する官吏及其家族を控除すれば六千餘口となりこれに前記の預金十二万圓を割り當つれば一人約二十圓となる譯なり這は現に六千餘口を糊するに必要なる活動資本以外の遊金なり而かも龍山には十八銀行の外に百三十銀行の出張所在りて之れも營業方針は十八銀行のそれと大差なく專ら預金の取扱をのみ爲しつゝあるに依り此の方にも若干の遊金は有るべしされば彼是れ合して各人に對し平均二十五圓以上の遊金ありと見るを得ん斯れば龍山に於ては金融逼迫の嘆聲は聞かれざる筈なるに龍山の人々は何時如何なる場合に於ても此の嘆聲を發し得るの機會を逸せじと努むるもの如し幾ならずや若し之れが東京大阪邊に於けるが如く大資本の夫れに相應したる事業を求めて得ざるが爲めの遊金ならば又一方に金融逼迫の聲を聞くも尤の事ながら富の程度殆んど平等なる龍山にては前記の預金は最多數者が各自剩餘金の和なりと見るを得べく苟も剩餘金ある程ならば泣面下げて不景氣の嘆を漏すに及ばず大に發展を試むべからずや前年仁川に於ては同地の紳士が仁川の賑をつけんが爲めに第一銀行より三十万圓を借入るべく大骨折りを爲して効を奏せし事あり彼れを思へば十二萬圓は三十萬圓の半にも達せざれども龍山の賑を附けんには相應の効力ある程の金額なり然るにも拘はらず居留民は此處の道理に氣着かずして各自不景氣を嘆じ民團をして收稅難を喞たしめ剩へ銀行業者をして貸す等の金を貸しては相互の不利益ありと默はしむる抔は埒も無き事ならずや之れを或人に告しに何とか爲ねばならずと云へり然り龍山は何とかせねばならず

●校名變更の協議會

中部敎化門前普光學校は八九年前學部より認可せられたるものにて本年一月慶坊會より引繼ぎたるものなれば員慶學校と改正せざれば中止を命ずる旨達せられしにつき一昨一日午後總務以下相集り協議の上改正することゝし今三日學部當局者の認書を得んが爲めなりしと云ふ

●岩崎民長の用向

岩崎民長は一昨日入京せしが其要件は近日中神戸橫濱へ港灣組織調査の爲め出張するに付當局者の承諾を得んが爲めなりしと云ふ

●便乘船客は窃盜

仁川に一昨日入港したる成歡丸の乘客なる大工大島留六（二二）と云ふは同船より現金五十五圓を窃取して其儘行衛を晦ませしと

●新町の健康診斷

一昨日新町遊廓診斷所に於て娼妓の健康診斷を行ひたるに健康者は百六十三名なりしと宅診斷三名休業通院三名就業通院十五

●一昨夜の新町

遊廓の嫖客は百十五人、散財高五百七十五圓三十錢なりき

●天氣豫報（自二日午後六時 至三日午後六時）

北西の風晴

一日（華氏）最高溫度 三一、五　最低溫度 二一、〇



八千代の弗箱(三)

▲鬼婆に八千代を征伐す
▲鬼婆出に轉勤を命らる

膝に臥く人の一心は岩をも徹す況んや鬼を名に冠むれるハイカラ男が一念ナド八千代位が固めたる決心の腕崩されざるべき、と、花月の艶子が文句ならぬ嘆はれる程頭かれる程八千代戀しの思ひは募り附け回り鬼も傷せず摘口說たる念力に神も感應ましましたりけん何時の頃よりかさしも堅固に固めたる八千代の決心搖ぎそめし樣子にて嬉男振りと情との二ケ所の資本に効を奏し夫れから後と云ふもは女の方から呼出しかけて嬉しい首尾を待つ程に成つたるが夫れでも根が悧な八千代の事とて秋田の方へ向つては矢張り私の可愛い人は貴君丈けよと磨きをかけた石炭の如き頸筋に大根の樣な腕を投げ掛けて甘つたれて見せるにぞ花合戰の席上では三枚持たでナメ(は何と云ふ)に見拔く(眼は持ても八千代が内に包まれたる胸中は見拔くに由路なくうかくと鼻毛を伸ばし居る醜體は見られた圖にはあらざりけり)さても許に病人ありとかにて歸朝の後まる程に鬼さんの妻君は國することゝ成りたるに鬼さん八千代を得たり賢しと此も偏へに天道樣の助けなりそれに付けても國許の病人が一日も長く死なず生きすの間でくれかしと義でもない所願を去る神樣に掛けたる程に妻君の留守中(目下も歸朝中)は幾どして八千代の方から近所の手前も憚らず鬼の官舍に逆襲して役所への辨當の菜まで拵へて一切万事女房氣取り振り世間に憚らぬは秋田さんの眼ばかりそ思ひ居りしは愚かにて遂に可愛い鬼

さんは其の亂行よりして夫れとはなしに去月廿六日附けの辭令を以て釜山に轉勤を命ぜられたるは身から出た錆と云ふべきか

教會に補助金十萬圓

▲金在珣の大法螺

中部寺洞にある神宮敬義會と云ふは隨分如何はしき存在なるが昨日午後維持方法に關し特別會議を開きたる席上會長金在珣の談話こそ實に噴飯に價するものなれ曰く本會は來春日本政府より十萬圓と御維持費若干圓を下賜する筈なれば夫れ迄連署して銀行より金五百圓を借用せん然れば困難にて維持する能はざるとは吹くも吹たりと其を眞面目に聞く會員の二十八名も目出度く肩書こそ振れど馬鹿さ加減長に瞞着されて異議なく可決したれば金は仕濟したりと打喜び目下借用の運動中なり

兇漢の父安泰勳(二)

▲暴戾殘虐比類なく
▲猜疑に富む謀反人

この親にして此の子あり安泰勳に發は貴頗る獰猛にして少の如く山野を駈けめる事さへありき巧にて其技神に入り或る時行商支より安泰勳を惡しざり拳を固めて頻郷しそのまゝ同家を立歸りて斯くと聞き火の如く憤り直ちに二里餘を隔てたる安姿を認め一發にて見れ安重根が二十二歲那巡檢は端なくこの浦巡察署より犯人逮檢を差向けたるにぞ李夏榮の許へ駈込うして事なきを得たり安泰勳の上を說か條約の締結されし當安會と稱する秘密結より安泰勳之に入上京の上幹事を訪ひ云ふところ悉く激昂はざるより立去らん暫しと安泰勳を呼止の意見に合するやを答へて云へるやう林可なり我に決死の壯方にて三十名を出す隊わらば一の林公使を屠るには充分なりとの事に逍がの會長を始め並居る人々も呆氣に取られて送す言葉もなかりしより安泰勳は哄々と大笑し足下の如き弱虫が幾千八頭顱を揃へたればとて何事をか爲し得んやとて袂を拂つて立去りたり、斯の如く保安會の怯懦を怒喝して飄然京を去りたる安泰勳は再び深洞に立歸りて風雲の會を待てる折柄偶々新條約の締結せられたるを聞き忿懣措くところを知らず「安能區々在此乎」の七字を壁に顯して飄然家を出で一劍放浪鎭南浦より上海に赴かんとして志を得ず遂に鎭南浦にて病沒せり安重根は鎭南浦にありて父の死を悲しむ事限りなく三年間喪に服したるが宣敎師ホンツックの紹介にて其後北間島に赴く事となり途上京城に立寄り中部茶洞金達秀宅の外舍に居を構へ同七月迄同所にありきこゝに安泰勳が海州に往せる頃同家の使隱(支配人)として厚く恩顧を蒙りし元陸軍參謀趙東元、今の延安郡守莊明成の兩名あり兩人共家には尠からぬ財富を蓄へ常に僞而非志士と往來し不逞の陰謀をめぐらし居たるが安泰勳既に死し安重根漢城にあるを知り之が爲めに資を供して再擧を圖らしめたり安重根は大いに喜び己が寄寓せる金達秀の子息金東億と共に愈々北間島に赴きぬ

生計に窮して自殺を圖る

▲賴みし男に棄られて

京城は花園町の卜ある矮陋しき一間の溫突に秋の初めより移り住める女あり身には幅狹き筒袖を纏ひ髮はたどろと蓬の如く那處見る影もなき姿なれど自からなる愛嬌は野趣人を醉はしむるの趣あり產れは熊本縣上益郡七竹村の者とか名を森田富(二三)と稱び兩三年以前同じ郷里に住む腹黑き古手巡査の口車に乘せられうかと渡韓したるが生涯の誤りにて夫れ以來種々の變苦を嘗め盡し彼處此處と漂浪ふ內何時しか當時櫻井町に住む小林長一(三八)とかいふ請負師の世話を受くることゝなりしが小林も其當座こそ雞米の貢ぎもしたれ時經るさ共に秋の扇と見捨て薪炭の代は固より近頃は弗つりと融の途切り片顏も見せぬ始末に富は常の困難一方ならず日々の糊口さへにきし衣は身の皮は固より頭の物迄質拂ひ殘る物とては雜貨米商の貸借き催促の聲のみ身の措き處さへなき迄に苦しき仲なるを樂天なる近處の猥連は稀し掛かす雨夜に徒然獨り外出の物陰に袖を引く者尠からず中にも同町土晩に石造破しき某大衙に通勤せらるゝ勤八等の傭拂公殊の外の熱心にて吾內に住はゝ某の洋刀殿も一一人は貢一番槍をと五月蠅く附纏ふに女の迷惑一方ならず加之に日に此頃は借鬼は督促一倍を加へ四方八方の苦しみに心狹くも思ひ詰め去る二三日前の夜不斷出入りする近き同國人の家を訪ひ夫れとなく迯乞ひ告げ影薄き身をかくしたるが其樣子の如何にも常に似ず憐れに怪しきを氣遣ひ小价をして其後を跟けしめしに益其舉動の訝かしきより再び家に伴れ歸り段々と樣子を訊ねたるに包み切れず全く此世を果敢なみ何れかに行きて身を失はんとの覺悟なりしと涙ながらの物語りに同家のものも貰泣に袖を濡せしが懇々其不心得を諭し僅に自殺を思止まらせたりとは何ボウ憐の談ならずや

賊魁隱匿の兵器押收

▲銃器軍刀數多

全羅南道羅州憲兵分遣所上等兵一名補助員五名は去る十八日賊情偵察の途光州郡瓦谷面の山中にて賊魁李錦齊一名起臥の隱匿せし千步銃一挺火繩銃十一挺を發見押收し引續いて同郡古龍面長稿に於て火繩銃四挺咸平郡鳥山面廣谷にて巡査刀一振を發見し押收の上二十二日歸所せるが李錦齊の行衛は未だ端緖を得ざる由なり

支那ジャンクの沈沒

▲乘組員二十餘名生死不明

仁川敷島遊廓裏手海岸に先月廿九日の暴風の際沈沒したる支那ジャンク船あるを昨日發見し支那巡捕廳より警官は時をも移さず現場に出張せしが聞く處に依ればジャンクには乘組員少くも廿名以上有るものなれば何れも無慘なる死を遂げたるものなるべしと云ふ

●韓童の舊惡露見　明治町一丁目江里德方雇韓人金相得(一三)といふ韓童は以前の雇はれ先なる壽町三丁目古物商增野國松方店頭陳列の白銅側懷中時計一個を去る十月十四五日頃誤魔化してこれを知己なる鍾洞七統一戶安貴德(一八)に賣却せしを此程發覺して南部署に拘禁せられたるが幼年者にして且つ前非を後悔せるに依り深く將來を戒めて放還したり

●醉漢仲居を擲る　仁川宮町二丁目の榮亭にて昨日午前零時三十分頃一名の醉漢仲居を擲る等亂暴狼藉を極めつゝある旨訴出でに接し宮町派出所より巡查出張取調べたるが此の醉漢は宮町一丁目に住む煙草屋の主人にて親族の者も馳せ付け散々詫入りしかば將來を戒めて歸宅せしめたりと

●拾得品を屆出づ　明治町一丁目六番戶裏通りに於て一昨日末永たけなる者銀側兩蓋時計一個を拾得▲昨日午前永樂町二丁目百十一番地吉田良一は某所に於て自轉車一輛を拾得して何れも南部署へ屆出で同署に保管しあり

心當りの者は至急申出づべしと

●小兒病者の福音　大韓醫院にては是迄小兒科は內科にて診察し來りしが今回斯道の泰斗たる東京醫科大學敎授廣田博士の下に在て多年小兒科の研究に勉められし醫學士河野衛氏來任を期し特に小兒科を新設せられ已に一昨三十日より診察を開始しつゝある由なれば小兒病者の爲めに大なる福音さ云ふべし

●敷島女郎の鞍替　仁川敷島遊廓一山支店の抱娼妓小松、當、岸野、の三妓は川の不景氣に愛憎を盡かしたるものか昨日の一番列車にて大坂に鞍替したり一寸親類筋にれ知らせまで

●壽座の日延べ　當地壽座に開演中の伊藤公國葬活動寫眞は昨日を以て打揚げの筈なりし處頗る好評なりし爲め來る五日迄日延べを爲し尙ほ入場料は總べて半額にて觀覽せしむる由

●三面辭令　東券花香樓妓追野リヨ(二六)は滿期放免となり▲新町月下樓の月子拍子事藤原クニ(二四)は實母病氣の急電に接し兵庫縣へ一時歸郷▲新町第一樓支店山本トラ(二〇)事藏名若蝶女郎は病氣靜養の爲め神奈川縣へ無期歸宅を許されたりとなん

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

十二月三日　旧十月廿一日　七赤　赤口　丁酉

ひらく△一白●百事偏重に傾きて失態あるの日なり節制を肝要とす小事は可大事は不可△二黑●家庭若くは近親の身上につき些少の世話事あり其他吉△三碧●取引交際上に注意すべし壯者は色情痴情を愼しむべし△四綠●盜失横領防ぐべし其他注意すべし總じて厄運の日なり但し婚姻共同組合の成立には良好たり△五黃●保證貸借事損害間違起り易し其外平靜△六白●吾信異事を報ずるあり轉宅轉業分業等良好談判相談婚姻等凶△七赤●不通塞塞の日なり開店開業旅行模樣替へ等凶契約賣買取引貸借等不整△八白●主上君くは尊親のため出損煩累あり其他平凡△九紫●沈衰の日なり新事及變更の事凶尙旅行貸借談判見合すべし

◀平民文庫▶

▲僕は茲に章魚の受精法の奇妙なるを紹介しようと思ふ御存じのれ方は默つて居て頂きたい▲蟲には雄の風上に鳴く其の音を聞いて懷胎るものさへあるこかだが、我が章魚坊君のは更に奇拔である▲交尾期?になると御亭主たる章魚坊君の放散する一種の臭氣を慕ふてれ內儀さんたる尼章魚さん一生懸命其の跡を遂つかける▲機熟すると坊君の陰部とも見らるゝ一種の液囊はプツリと根より切れて浪のまにく流れ去るのである▲スルとサア事である、尼章魚さん失れ失ふてなるものかと又々一生懸命其の後を逐ふのである漸くにして之れを其の手に拾ひ取るや尼章魚君の歡喜は其の頂上に達する▲拾つた夫れを何うするかと云へば即ち之れは食ふのである僕は生憎拾つて食べた事がないから味が何んなか知らないのは遺憾であるが、兎に角夫れを一口食つたら最後懷胎になるのである相だ此れは事實である▲中には他人のを拾つて父なし子を孕んで離緣せられる尼章魚さんも有る、とは何うやら嘘らしい(風聞子)▲風聞子さん何程材料が

ないつて苦しみ樣が酷い樣だ(小僧)▲はの字君のはチト當りが烈しいからた預り(係)●▲森勝次さんの養子一二さんは詐欺賭博に罹つた爲めに離緣せられたさか何にも泥棒をした譯けではなし賭博だもの時には負ける事もあらうさ元來敎へたものが惡いのだ(一子相傳)▲明治町の浪花座は愈々一日より開演したが非常な大入だつた相だが新聞を見ても讀み物が判らないので困る何うか載せて下さい(れ願男)●●▲本町二丁目の○子さん久水さんとの逢瀨が餘りに度重なりますとれ爲めになりませんよ(友子)●●▲雛子さん大變此頃は嬉しそうですねーそれに引替蝶々さんは何んだか心配そうですねー(心配生)

各種洗濯石鹸專門製造
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町一丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●破産にし 年三十五普通教育あり 鑛山事業に多大の趣味を有す 如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)
●破産度 年三十三才貨物取扱及後始末手續に經驗あり英語を解す商店又は會社に雇はれたし 氏名在社(四八五)
●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料望次第保證人を要す(家族小人數) 龍山老松町三四號玉
●破産度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社(四八七)
●告上原氏 應募申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵券送付ありたし(係)
●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所
●告ケーチー生 紙上の匿名は可なるも絶對の匿名にて文通信するに由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知ある迄掲載を見合はす(係)
●望測量製圖助手 氏名在社(四九一)
●求職 昨今渡韓の青年給九歳事務員又は商家に雇れたし 氏名在社(四九〇)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と湯殿二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社(四七八)
●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家數間あり御希望の方は同所の内尾に就き問合せあれ
●古新聞 六月後の大阪朝日、大阪每日、京城日報七月後の朝鮮新報取揃原價の半額位にて讓受たし 氏名在社

廣告

歐米新式
高等裁縫
龍山桼町
田口洋服店
電話三一二番

陸軍諸官衙御用達
建築土工請負業
龍山老松町
磯口商店
電話一一九番

賀川崎
多少に不拘萬事御便利に御扱申候
旭町三丁目
品物ハ大切ニ保管秘密嚴守仕候
大町裏通北側
電話六七三番

開業廣告
旭町一丁目歌舞伎座前北側
旅館並高等御下宿
戎館
諸具新調し親切叮嚀を旨とし勉強仕候

入○○○院○○○隨○○○意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各○○○科○○○診○○○療

株式會社第一銀行電話番號
總支店 京城支店
一二、六一三、六二〇番 (京城支店)……
支配人、發行部用、調査部、文書課用、出納部、計算部、營業、當直用、京客用、應接所用、營業用……

●電話開通八百三十五番●
唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店

緊急廣告
石川高等法院判事閣下校閲
今村內部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
○印刷○明○校正○嚴密○
○類集○整然○携帶○便利○

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

壹冊紙數六百頁 菊判半截形 製本堅牢 正價金六拾五錢
◎此際に限り實費金五拾錢にて配本仕候十二月五日出來配本
◎本書は日韓一家的關係の上に於て近來に於ける一大進捗とも稱すへき司法權委任に關する法令を餘さず洩さず網羅蒐集したるものなり
◎本書は時世の要求に依て產れ出關係官民各位の竭望に應すへく玆に印刷實費を以て提供を開始せり
◎本書は官衙公署は勿論銀行會社組合事務所其の他苟くも在韓官民諸彥の座右に是非備へ置さるへからさるものなり
◎本書は必要の場合に應して使用するのみならず此際に於て是非一回は御通覽の必要あるものなり
○○總目次見本は御申込次第郵送可仕候持別減價の方法あり御希望の方は本月末日迄に御申入れを乞ふ
京城明治町三丁目
日韓印刷株式會社出版部

大阪合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
荒物世帶道具一切
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
卸小賣
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
合西 西崎嘉七本店
電話長二一〇電略(ニカ又はニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

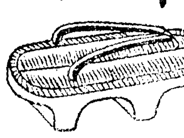
上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
(電話六十五番)

明治廿年七月創立
京城代理店
資本金一千萬圓
事務所 京城本町二丁目 電話一〇六〇番
[illegible]

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計
米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車
韓國特約販賣店
時計卸商
仁川本町三丁目
喜多金光堂本店
電話七五〇番
時計卸小賣
京城本町二丁目
喜多金光堂支店
電話千十五番

大根大賣出
澤庵漬用大根
漬物用白菜
自園栽培
農商工部園藝模範場御拂下品
並に●鹽●糠●各種子●農具一式
例年の通り品質精撰の上破格廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候迄て御希望に依り漬込の御囑にも可應申候
京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

歐米新式
高等裁縫
龍山元町四丁目二十八番戶
丸濱洋服店
弊店は廉價と叮嚀を旨とし精々勉強仕候


足袋
本店東京
東京
京城大和町一丁目
(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

蒸溜 消毒 牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一……

特約販賣
醬油 味噌 漬物 製造元
京城本町五丁目
大上商店
自製
和洋酒、(回)精酢、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣(電話二五一番)御望に依り商品切手調進仕候

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋
唐川商店
電話二六一番

神戶資生分院
◎花柳病專門附、痔一般(注射療法)
●入院隨意●
京城相生町(南門湯横)
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 富田耕平

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一二五番)

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行

危險擔保附運送
品代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城南大門驛前
京城支店
電話一七九番
電話七〇八番
仁川驛前
仁川出張所
電話五一一番
草梁驛前
釜山驛前
釜山出張所
電話九一六番
電話六三七番
龍山驛構內
龍山出張所
電話二〇六番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(藪そば橫町)

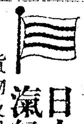
原料直輸入廉價調製各種木形新着
弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは最新の粹を集め常に諸彥の御滿足を得候
●京龍間は御一報次第見本を以て御伺可仕候
●地方御注文は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本を送附可仕候
深ゴム靴 特價 六圓五十錢
アミ上靴 五圓五十錢
淺ゴム靴 五圓十錢

京城本町一丁目(郵便局前)
東京 北村支店
店主 磯部廣吉謹

會席御料理御一人前
肴四品付酒二本
金六十錢
すき燒其の外應御好
京城竹園町一丁目
遊樂樓
(元三遊樓跡)

京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)
資本金 …百萬圓
積立及繰越金 …拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
本 韓國
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、郡
東海道 岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候


日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戶行
山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行
高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行
酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行
立神丸 十二月八日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ御乘船可申候本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事